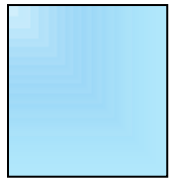
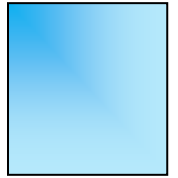
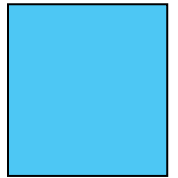


(様式：13-01)

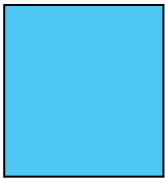


紺藤織物 株式会社

2016 年度 環境活動レポート

【 2015 年 9 月～2016 年 8 月号】

作成日 ： 2016 年 11 月 25 日



ご 挨拶

紺藤織物株式会社は事業活動を通じて、持続可能な社会の発展に貢献していきます。私たちは、法令を遵守することはもとより、多様化するステークホルダーの期待や要望に応えるために、積極的なコミュニケーションを図り、私たちに何ができるかを、常に考え、社会的責任を果たす活動を自主的、かつ積極的に推進していきます。

当社の環境活動においては、「母なる湖」琵琶湖を世代を超えて共有すべき財産として守り伝えていくため、湖と企業活動の共生をめざし、エコアクション 21 活動を柱に、一層の環境負荷低減に努め、自然と人類の共存を図る取り組みを行っています。

紺藤織物株式会社

代表取締役社長 山 川 藤 治



環 境 方 針

当社の産業資材用織物及び撚糸コードの設計・開発、製造及び販売活動の中で、環境保全が経営の重要課題であることを認識し、エコアクション21 環境経営システムを構築・運用し、全社一丸となって自主的・積極的に、環境保全活動に取り組みます。

＜環境保全への行動指針＞

1. 環境関連法規制や当社が約束したことを順守します。
2. 環境目標を定め、定期的に見直しを行い、継続的改善に努めます。
3. 具体的な取り組みとして次のことを推進します。
 - (1) 脱地球温暖化社会のための省エネルギーとして、電気使用量を削減します。
 - (2) 循環型社会のため 単純焼却の廃棄物を削減します。
 - (3) 省資源のためロスを低減します。
 - (4) 水資源の節約として 上水を削減します。
 - (5) 作業環境を全員参加の5 S改善活動で進めます。
 - (6) 化学物質の適切管理の推進
 - (7) 事務用品及び消耗品のグリーン購入を進めます。
 - (8) 納品時に使用する梱包資材をリユース出来るものに切り替えを促進します。
 - (9) 事業所周辺の水辺の環境や生き物の保全活動を行います。
4. 全従業員にこの環境方針を周知します。

最新改定日：2010 年 8 月 27 日

制 定 日：2006 年 8 月 19 日

滋賀県高島市新旭町藁園 1498 番地

紺 藤 織 物 株 式 会 社

代表取締役社長 山 川 藤 治

I. 事業者活動の概要

- (1) 事業者名及び代表者名
事業者名 紺 藤 織 物 株 式 会 社
代表取締役社長 山川 藤治
- (2) 所在地
滋賀県高島市新旭町藁園 1498 番地
- (3) 環境保全関係の責任者及び推進者連絡先
責任者 総務管理部長 : 中村 宏幸 TEL : 0740-25-3431
担当者 技術部長 : 福田 藤博 TEL : 0740-25-3431
- (4) 事業内容
産業資材用織物及び燃糸品の設計・開発・製造・販売
- (5) 事業の規模
主要製品生産量 3,166ton／年（2016 年度実績）
従業員 83 名（2016 年 8 月末日）
工場延べ床面積 13,709 m²
- (6) 事業年度 9 月 1 日～8 月 31 日

II. 認証・登録の対象組織・活動

登録組織名：紺藤織物株式会社（全組織・全活動対象）
活 動：産業資材用織物及び燃糸品の設計・開発・製造・販売



Ⅲ. 3年間の事業の規模と負荷の取りまとめ

事業規模

活動規模	単位	2014 年	2015 年	2016 年
生産重量	t	3,313	3,276	3,166
売上高	百万円	1,181	1,198	1,162
従業員	人	80	82	83
床面積	m ²	12,632	12,632	13,709

環境への負荷の状況

		単位	2014 年	2015 年	2016 年	特定した 環境負荷
① 総エネルギー投入量	購入電力	MJ	25,882,714	27,622,280	2,526,806	○
	購入電力	kwh	2,633,033	2,809,998	2,570,377	○
	化石燃料	MJ	1,156,840	1,022,516	937,304	
② 総物質投入量	資源投入量	t	3,416.7	3,548.7	3,386.6	
	循環資源投入量	t	4.1	2.8	3.5	
③ 水資源投入量	上水	m ³	576	537	516	○
	地下水	m ³	812,000	800,400	794,600	
④ 温室効果ガス排出量	【二酸化炭素】	Kg-CO ₂	1,329,357	1,404,201	1,284,515	
⑤ 化学物質排出量・移動量	大気への排出量	t	0.33	0.34	0.24	
⑥ 総製品生産量又は 総製品販売量	製品生産量	t	3,313	3,276	3,166	
	容器包装使用量	t	7.5	5.4	8.8	
⑦ 廃棄物等総排出量	再生利用	t	95.9	99.1	234.7	
	単純焼却	t	10.2	12.5	7.7	○
⑧ 総排水量	公共用水域	m ³	811,361	800,163	794,358	
	下水道	m ³	1,215	774	758	

Ⅳ．環境目標とその実績

今期（2016 年度（‘15/9～’ 16/8））より、新たな中期環境目標を設定し、エコアクション 21 の運用を始めました。新中期環境目標の基準年度は 2014 年度（‘13/9～’ 14/8）としています。

項目	年度	2014年度(基準年度)	2016年度		2017年度	2018年度
		(‘13/9～’ 14/8)	(‘15/9～’ 16/8)		(‘16/9～’ 17/8)	(‘17/9～’ 18/8)
		実績	目標	実績	目標	目標
購入電力に起因する二酸化炭素排出量の仕掛長さ当たり (kg-Co2/km)		142.84	142.13	149.60	141.41	140.70
単純焼却廃棄物に起因する二酸化炭素排出量の仕掛長さ当たり (kg-Co2/km)		3.12	2.79	2.52	2.78	2.75
上水量 (m ³ /年)		576.0	535.6	516.0	532.0	532.0
5S改善活動 (点/年以上)		50.4	51.0	51.0	52.0	53.0
ロス率の低減 (%)		6.15	6.14	6.47	6.13	6.12
化学物質の適正管理 (AK-35 (PRTR 法非該当)) 使用量計測		12回/年 計測実施済	12回/年 計測	12回/年 計測実施済	12回/年 計測実施済	12回/年 計測実施済
事務用品・消耗品のグリーン購入 アイテム比率 (%)		54.7	56.0	53.6	57.0	58.0
燃送り品の段ボール梱包削減 段ボール比率 (%)		59.1	53.2	52.4	52.6	52.0
環境保全活動への参加		お魚ふやし隊参加等	28名	31名	前年比10%up	前年比10%up

【補足説明】

1. 新中期環境目標（2016 年度－2018 年度）に使用する原単位は、製品（織物）長さ（km）としています。
2. 購入電力に起因する二酸化炭素排出量の排出係数は2012年度関西電力実排出係数0.475kg-Co2/kmを使用しています。
3. 水資源は、計測上の問題から上水のみを目標としています。地下水は平成 28 年 7 月 6 日に水質分析を実施し、第 3 者機関より水質汚濁環境基準に合致している証明を頂いております。
4. 5 S改善活動は、2012 年 9 月度より一部評価基準の改定を行い、活動・評価しています。
5. 化学物質の管理において、当社では PRTR 法に基づく物質を一切使用しておらず、検査時に使用する有機溶剤（汚れ落とし）の AK-35 の適正管理に努めます。
6. 生物多様性に関する取組みは、当地域で開催される環境保全活動に積極的に参加し、参加延べ人数としています。

V. 2016年度 環境活動の具体的な取り組みと評価

取り組み	結 果
1. 電気量の削減・・・製品(反物)長さ対比 (1) 製造部全体の稼働率UP (2) 織機、送風機等のVベルトの切り替え (3) コンプレッサーの適正運用 (4) 冷暖房のメンテナンス強化 (5) 夏場の工場の遮断・断熱工事を実施※	【評価結果 △】 目標値 : 142.13kg・CO₂/km 以下 実績値 : 149.60kg・CO₂/km 達成率 : 95.2% 今年度は、新工場建設の影響や一部生産調整により、製品メーターは伸びなかったことが、目標未達成の主因。しかし、前年対比で見ると、『生産長さ/電気使用量』はほぼ同じであり、『売上高/電気使用量』においては6%改善している。活動は問題ない。
2. 単純焼却の廃棄物の削減・・・製品(反物)長さ対比 (1) リユース、リサイクルへの分別を徹底する (2) プラダン敷板の活用、廃段ボール、仮包装用テープ、ppバンドの削減	【評価結果 ○】 目標値 : 2.79 kg-Co₂/km 以下 実績値 : 2.52 kg-Co₂/km 達成率 : 110.8% 一昨年で排出量が大幅に増加した部署を中心に、監視強化をして課員への意識を徹底したことで、効果があった。今期は大幅に目標を達成できた。
3. 上水量の削減 (1) 使用実績を掲示 (2) 節水啓蒙シートを掲示	【評価結果 ○】 目標値 : 535.6m³/年 以下 実績値 : 516.0m³/年 達成率 : 103.7% 冬場(12月-3月)の使用増加傾向を継続的に掲示物や啓蒙活動を行ったことで、7%程度削減が出来た。
4. 5S改善活動による徹底率の向上・・・5Sチェックリスト (1) 4ヶ月単位『5S・8つのムダ改善活動』の継続推進(毎月の全社会議で成果発表)。 (2) 改善提案提出1件以上/4ヶ月/人の励行	【評価結果 ○】 目標値 : 51.0点以上 実績値 : 51.0点 達成率 : 100% 継続して改善活動に取り組むことができ、目標を達成することが出来た。各課単位の活動がマンネリ化してきており、来期は改善活動の進め方を再検討していきたい。
5. ロス率の低減・・・仕掛総計(生産量)対比 (1) ビーム巻反数の改善 (2) 捨て耳長さの削減(製品を特定する)	【評価結果 ×】 目標値 : 6.14%以下 実績値 : 6.47% 達成率 : 94.9% 目標達成出来なかった。ノットレス(結び糸なし)の製品が増加していることで、燃糸工程において、原糸のロスが増加したことが大きく影響した。

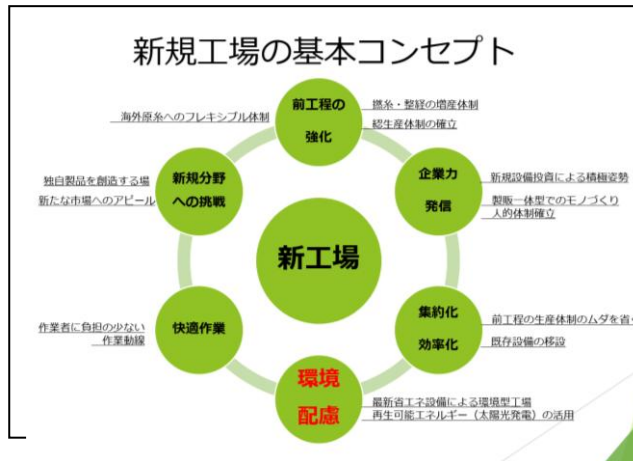
取 り 組 み	結 果
6. 事務用品および消耗品のグリーン購入アイテム数向上 (1) 既存品のグリーン購入化出来るものを検討 (2) グリーン購入品の調査	【 評価結果 × 】 目標値 : 56.0%以上 実績値 : 53.6% 達成率 : 94.3% 通期で目標は達成できないものの、単月での目標達成率は、9 勝 3 敗と勝ち越しとなり、活動を理解して進めているので問題はない。
7. 燃り送り製品の段ボール梱包の削減…生産量対比 (段ボール使用比率) (1) 梱包用箱をプラダン箱の使用の推進 (回転効率化) (2) 既存使用ユーザー以外との使用交渉	【評価結果 ○ 】 目標値 : 10%以上削減 実績値 : 10.2%削減 達成率 : 102.0% プラ段での対応先の受注の拡大と、昨年来のユーザーでの段ボールのリユース化が認められたことによる、段ボール購入量は減少する良いサイクルとなった。
8. 地域環境保全活動への参加 (1) 地域の水辺の環境保全活動の調査 (2) 保全活動への参加 ※詳しくは、下記のトピックスをご覧ください	【評価結果 ○ 】 目標値 : 28 人以上参加 実績値 : 31 人参加 達成率 : 110.7% 若手社員教育の一環として「お魚ふやし隊」に参加した。 毎月の近隣の清掃活動や琵琶湖清掃活動にも参加した。

※評価結果 ○ : 目標達成 △ : 目標達成率 95%以上 × : 目標達成率 95%以下

今期の取組みトピックス

◆新工場竣工・太陽光発電設備稼働

2015 年より新たな工場の建設を計画し、下図のコンセプトに基づき、2015 年 12 月より建設をスタートさせ、2016 年 4 月末に竣工しました。



今回のコンセプトの中に、『環境配慮』を盛り込み、工場の空調設備や照明器具は全て環境配慮型を採用しました。生産設備についても、省エネ化への改善を図りました。

新工場の屋根を利用し、100kwh 容量の太陽光発電設備を整備しました。再生可能エネルギーの活用と太陽光パネルを設置することで得られる遮熱効果による工場内の空調の省エネ化を目的としています。今後、太陽光発電による発電量の実績は、環境レポートでご報告いたします。

新工場の活用により、生産体制の集約化、効率化を図ることで、ムダな運搬など大幅に削減することが出来ました。このことで、フォークリフトなどの燃料の削減が進み、二酸化炭素の排出量も抑えることが可能となりました。

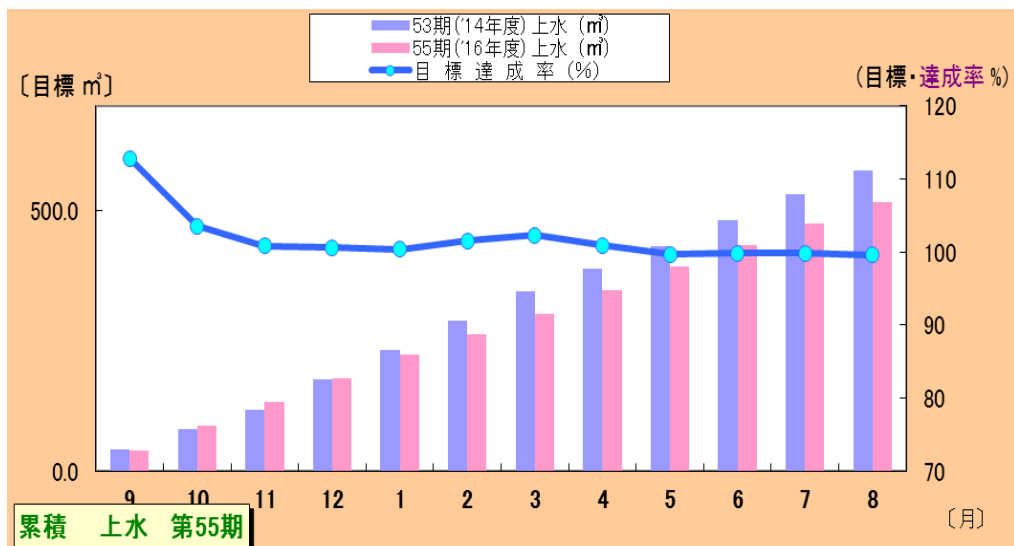
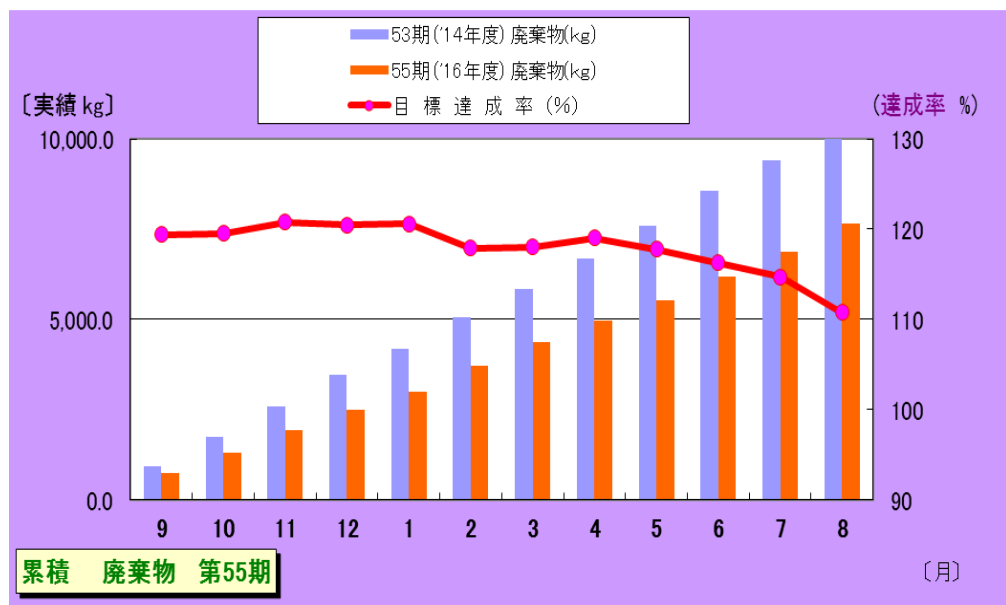
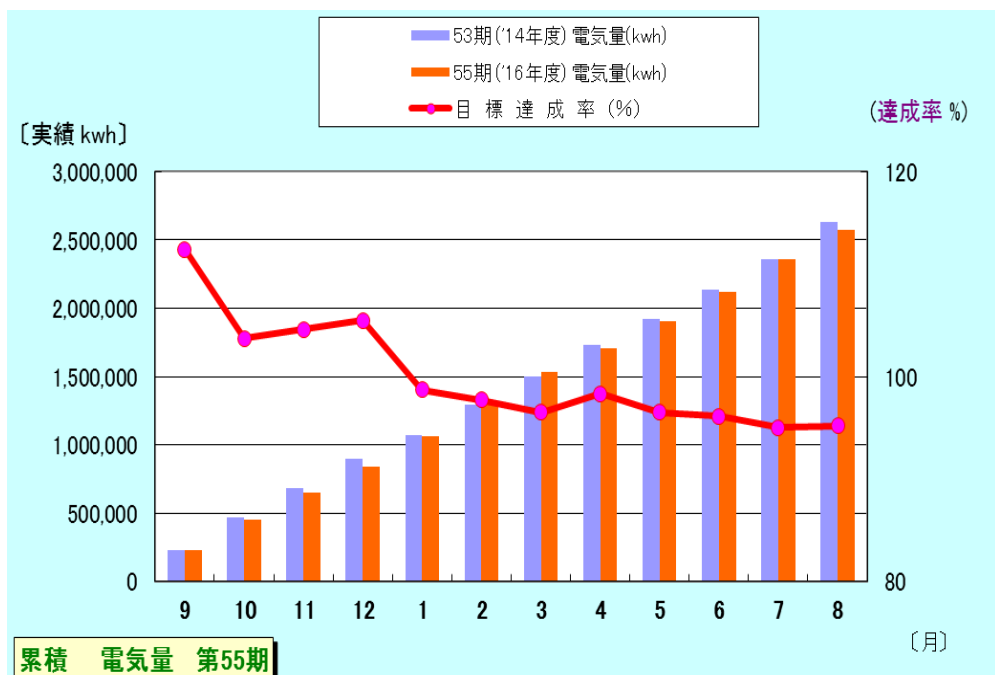


◆生物多様性に関する活動「お魚ふやし隊」

若手社員や社員家族の環境教育の一環として、琵琶湖と田んぼを結ぶ連絡協議会主催の「お魚ふやし隊（自然かんさつ会）」（2016 年 6 月 12 日開催）の活動に 25 名で参加しました。当社参加者向けに、特別に当社近くにあるビオトープにて、水辺の生物の観察を企画いただきました。私たちが採取した生き物の中には、大きなナマズなどが含まれていて、自然の豊かさを感じながら、自然保護の大切さや必要性を肌で感じる場面となりました。

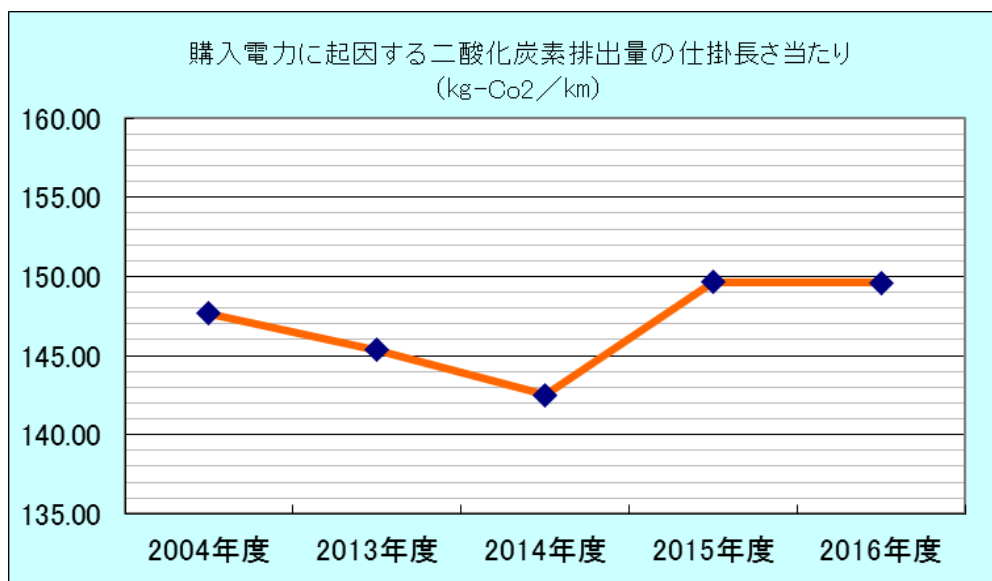


◆今期 実績グラフ

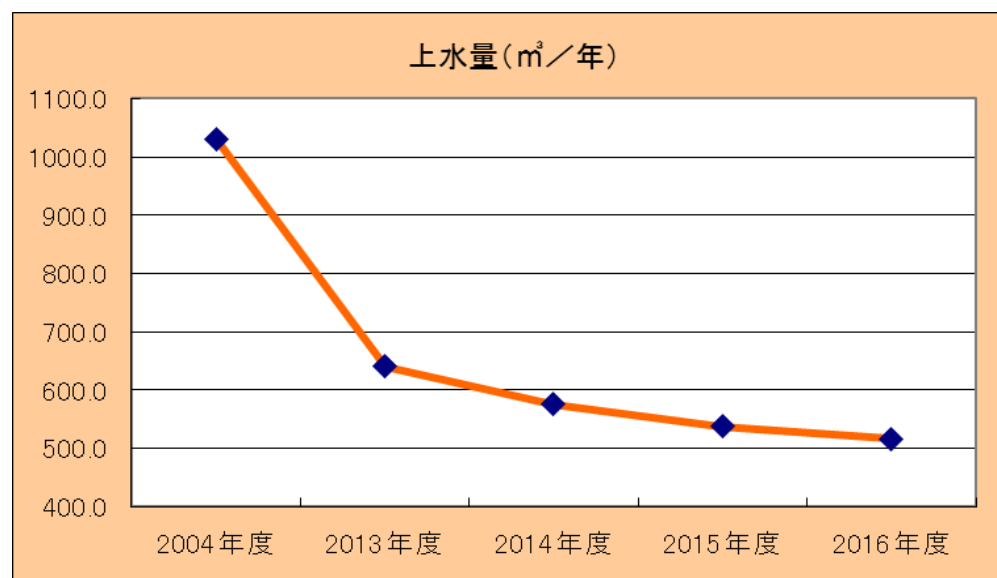
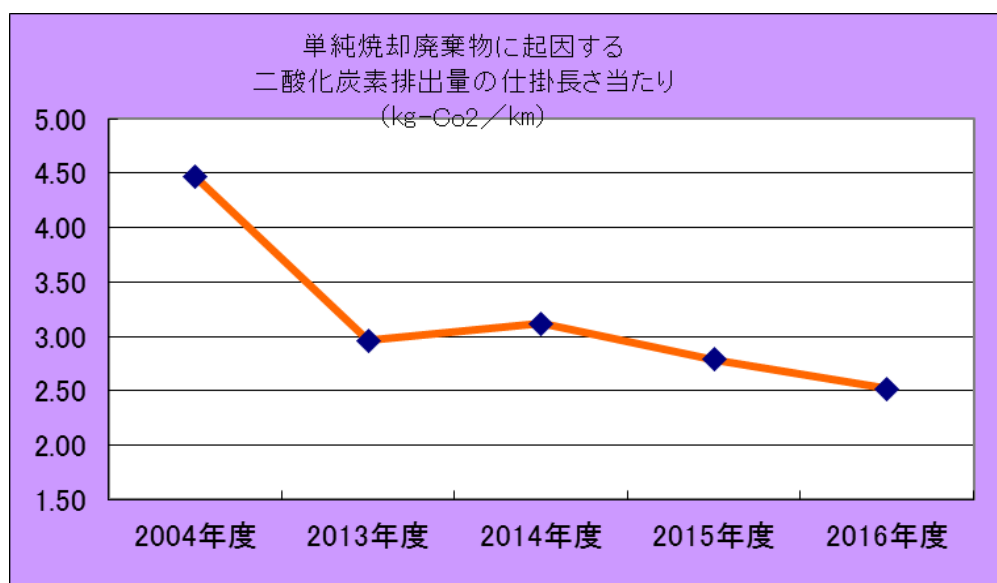


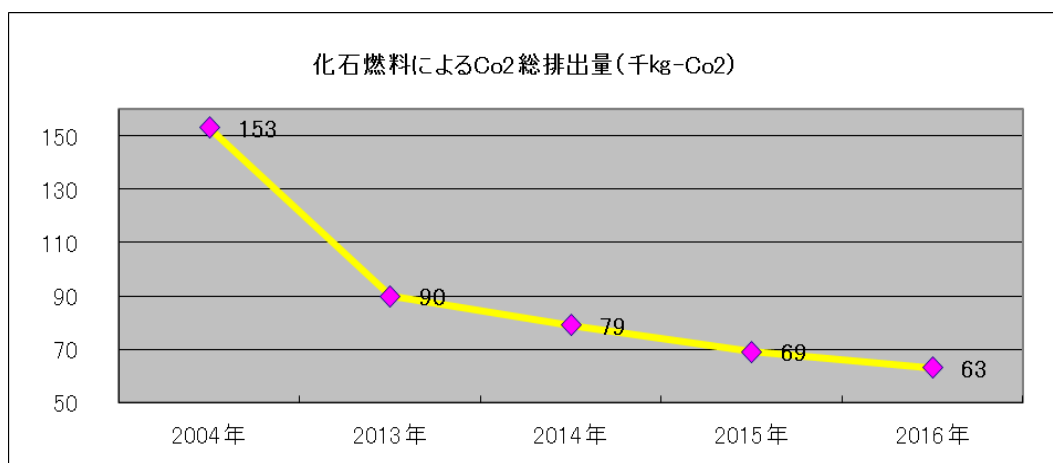
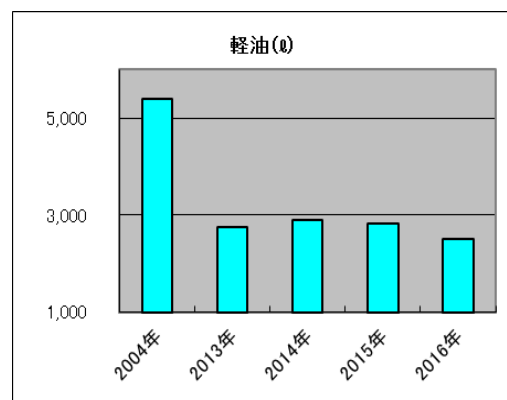
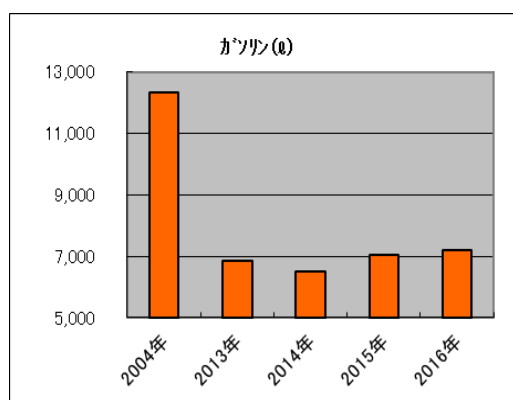
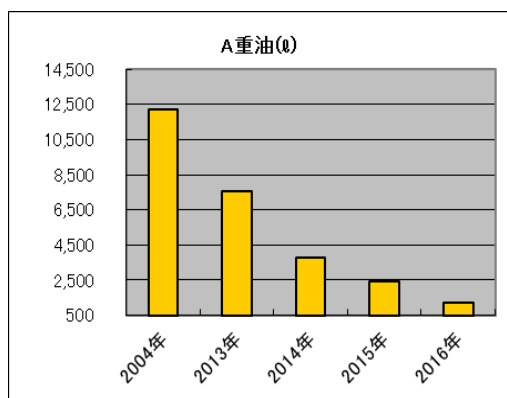
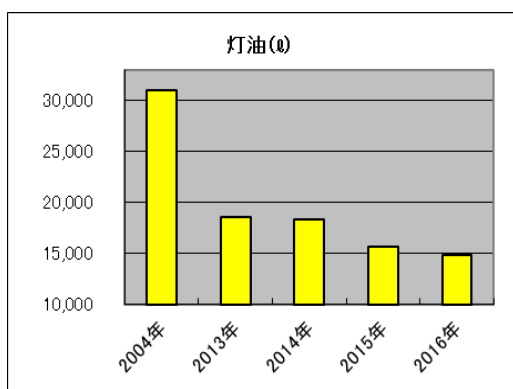
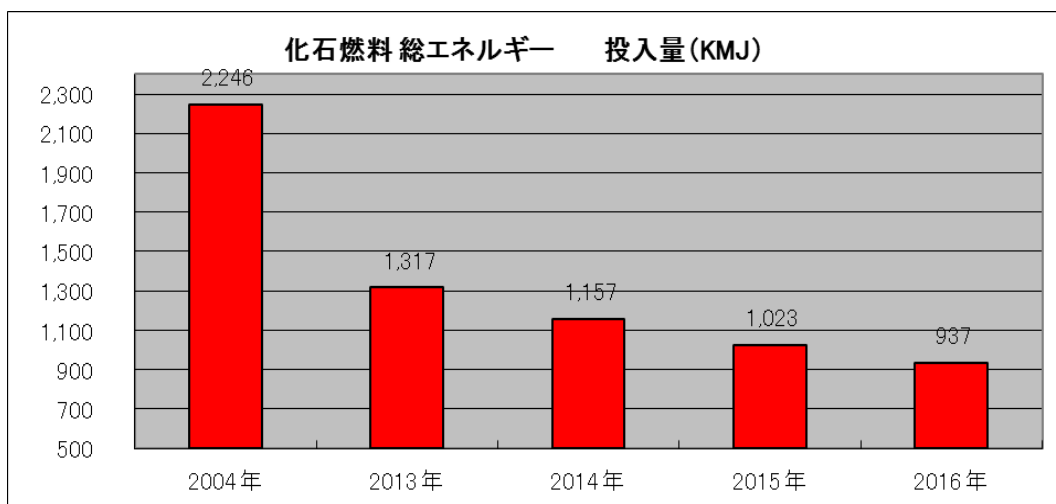
◆EA21 活動数値推移表（抜粋）

※2004年度は、当社のEA21活動をスタートさせた2007年度の基準年度にあたります。



※排出係数は、2014年度関西電力実排出係数 0.475kg-Co₂/kmを使用しています。





VI. 2017年度 環境活動の取り組み計画

取り組み計画	目標値
1. 電気量の削減…製品(反物)長さ対比 (1) 製造部全体の稼働率UP (2) 織機、送風機等のVベルトの切り替え継続 (3) コンプレッサーの見直し (4) 冷暖房のメンテナンス強化(空調の見直し) (5) 生産設備の見直し	目標値 : 141.41kg・CO ₂ /km 以下
2. 単純焼却の廃棄物の削減…製品(反物)長さ対比 (1) リユース、リサイクルへの分別を徹底する (2) プラダン敷板の活用、廃段ボール、仮包装用テープ、ppバンドの削減をする	目標値 : 2.78 kg-Co2/km 以下
3. 上水量の削減 (1) 使用実績を掲示する (2) 節水啓蒙シートを掲示する	目標値 : 532.8m ³ /年 以下
4. 5S改善活動による徹底率の向上…5Sチェックリスト (1) 4ヶ月単位『5S・8つのムダ改善活動』の継続推進(毎月の全社会議で成果発表)。既存活動のブラッシュアップ計画 (2) 改善提案提出1件以上/4ヶ月/人の励行 (3) 5Sレクチャー強化	目標値 : 52点以上
5. ロス率の低減…仕掛総計(生産量)対比 (1) ビーム巻反数の改善 (2) 捨て耳長さの削減(製品を特定する)	目標値 : 6.13%以下
6. 化学物質の適正管理 (1) AK-35(PRTR法非該当)の適正管理	設定なし
7. 事務用品および消耗品のグリーン購入アイテム数向上 (1) 既存品のグリーン購入化出来るものを検討 (2) グリーン購入品の調査、拡大	目標値 : 57%以上
8. 燃り送り製品の段ボール梱包の削減…生産量対比 (1) 梱包用箱をプラダン箱の使用の推進(回転効率化) (2) 既存使用ユーザー以外との使用交渉	目標値 : 10%以上削減
9. 地域環境保全活動への参加 (1) 地域の水辺の環境保全活動の調査 (2) 保全活動への参加	地域の環境活動参加者 : 前年対比 10%以上増加 (2016年実績31人)

Ⅶ. 環境関連法規制の順守状況

1. 当社に適用される主な法規制等と現在までの順守状況

法律及び法令の略称	当社に適用される要求事項	順守状況
廃棄物処理法 (廃棄物の処理及び清掃 に関する法律)	一般廃棄物・産業廃棄物の保管および運搬	適
	産業廃棄物の運搬・処理の委託	適
	産業廃棄物管理票の運用、交付等の報告	適
騒音規制法	規制基準の遵守義務	適
	特定施設の届出	適
振動規制法	規制基準の遵守義務	適
	特定施設の届出	適
フロン排出抑制法	簡易点検および定期点検の実施	適
消防法 ・高島市火災予防条例	一定規模以上の事業所に対する規程	適
	第4類危険物の指定数量	適
	指定可燃物の届出	適
	消防用設備等点検結果報告書	適

2. 環境関連法規について

当社の環境関連法規の重大違反はありません。関連当局の違反等の指摘及び住民より苦情も、過去3年間ありません。今後も最新法令を確認しこれを順守します。

Ⅷ. 2016年度代表者による見直し

第4次中期環境計画の最初の年の今期は、設定した目標に対し達成したものが多くありました。また、未達成であった項目でも活動自体は、概ね順調に推移しており問題はありません。

昨年に設定した中期環境計画の目標についても、妥当性を確認し、継続して取り組むことにより環境経営システムは前に進むと確信しました。

今期は新たな工場を建設した。「新たな需要の取り込み」や「既生産活動の見直しで一層のコスト削減」を目的とし、10年先、20年先に繋がる大きな投資を行いました。

今回、工場を建設するにあたり、「環境配慮型工場」をコンセプトとして、工場内の空調設備、照明器具、生産設備の一部見直しなど環境に配慮した設備投資を行いました。また、太陽光発電設備も備え、環境経営企業として、内外にアピールを行うことも出来ました。

新工場のハード面、ソフト面をフル活用し、最適な「ものづくり」を行い、環境負荷の少ない製品をご提供できるように努めてまいります。

上記を踏まえ、環境経営システムは有効に機能し問題なく継続展開をしていきます。

環境アルバム



新工場2016年4月竣工



2016年5月太陽光発電稼働



説明をちゃんと聞こう



お魚ふやし隊 全員集合！！



琵琶湖の固有魚みたい



みんなでびわ湖を美しく